



# セゾン投信 月次運用レポート

## 長期投資家の皆様へ

先日の伊勢志摩サミットでは、議長国日本の安倍首相の「世界経済はリーマンショック前夜の状況」発言が、他の首脳たちから大袈裟な我田引水発言と否定的に受け止められたように、日本を除く先進各国の経済状況は、決して悪化しているわけではありません。

今年の経済成長率予測では米国で 2.5%程度、欧州でも 1%以上の底入れ回復が見通される中で、日本だけがアベノミクス効果の息切れでほとんどゼロ成長に停滞しており、到底消費税増税が実行出来る状況にはないことから、増税延期の言い訳としてのアリバイ作りを目論んだ「リーマン前」発言だったのでしょう。

直近では、原油価格が安定して、中国も金融緩和と財政出動で経済失速懸念に一服感が出ていることで、日本も含め世界の株式市場は価格水準を穏やかに回復基調に載せていますが、4月以降グローバルに金融市場の資金フローは細っていて、先行きへの楽観ムードは依然乏しいままです。

とりわけ日本経済の景況感は閉塞気分に傾いていて、株式市場の売買も低迷しています。国内消費はデフレマインドに逆戻りで、個人投資家の資金投入もバッタリと枯渇するなど、アベノミクス以前の悲観風景に戻ったとさえ言えるほど、国内は暗鬱感が覆っています。

しかし、国際分散投資の「セゾン号」長期投資家なればこそ、周囲の沈滞ムードから解放されて、グローバルな実体経済を冷静に捉えられるはずで。

米国の利上げは確かに近づいていますが、これは世界経済の中核たる米国景気の相応な力強さを裏付けるものであり、「セゾン号」は円高基調への戻りをむしろ次への好機と認識して、じっくりと地球経済の穏やかな成長軌道へ素直にトレースしながら進んでおります。

中野 晴啓

## ご留意事項

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮しておりません。

投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

セゾン投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 349 号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

<http://www.saison-am.co.jp/>

お客様窓口 : 03-3988-8668 (受付時間 9:00~17:00 土日祝日、年末年始除く)

# セゾン資産形成の達人ファンド

## 5月の市場動向

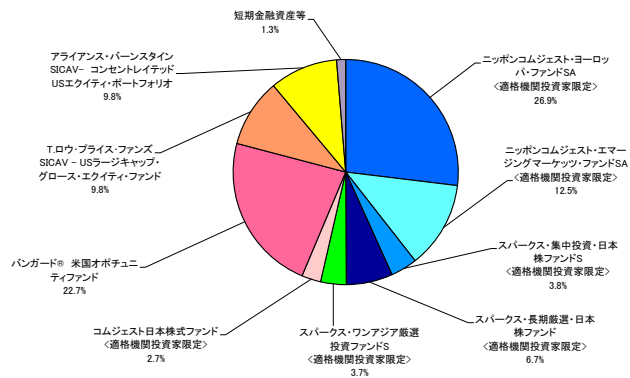
**株式：**【中国景気の先行きや米国の利上げへの警戒が高まったものの、米国で景気の先行きに対する明るい見方が広がり堅調】  
中国で発表された経済指標が力強さを欠いたほか、米国で利上げ観測が高まったことから、途中まで新興国を中心に軟調な展開となりましたが、終盤に原油価格が上昇してリスク選好が強まるなかで、米国景気の先行きに対する楽観的な見方が広がり反発に転じました。

**為替：**【利上げ観測が高まったドルが上昇し、ユーロが下落。4月末に大きく上昇した円は反落に転じ、対ドル、対ユーロで円安】  
米国で景気の先行きに対する明るい見方が広がったことや利上げ時期が前倒しされるとの見方が強まったことを受けてドルが上昇し、ユーロや円が下落しました。4月末に大きく上昇した円は、政府が為替介入を強く示唆したこともあり、ユーロに対しても下落しました。

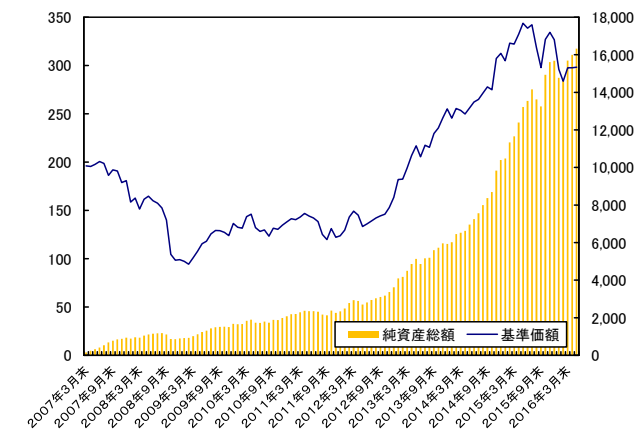
基準価額と純資産総額及び騰落率（2016年5月31日現在）

基準価額	純資産総額	設定来騰落率	過去1ヶ月の騰落率	過去6ヶ月の騰落率	過去1年間の騰落率
15,342円	317.5億円	+53.42%	+0.19%	-10.76%	-13.23%

資産配分状況(2016年5月31日現在)



純資産総額(億円) 基準価額と純資産総額の推移(設定来/月次) 基準価額(円)



## 5月の運用状況

### 今月の投資スタンス

今月は、定期積立プランでのご購入などにより、皆さまからお預かりした資金を利用して、コムジェストヨーロッパファンド、バンガード米国オポチュニティファンド、コムジェストエマージングマーケットファンド、アライアンス・バーンスタイン米国株式集中投資ファンド、スパークス・ワンアジア・厳選投資ファンド、T.ロウ・プライス米国大型グロスファンド、コムジェスト日本株式ファンドへの投資を行いました。なお、現金比率は前月から若干低下し、月末時点で1.3%となっております。

### ファンドマネジャーからの一言

株式へ投資を行うことは、企業の一部を所有することを意味しており、株式の本質的価値は企業が持つ資産や生み出す収益に裏付けられています。

当ファンドでは、一般的な市場参加者よりも長期的な視点で、企業が生み出す収益に注目することで、長期的に安定したリターンを生み出すことを目指していますが、企業が生み出す長期的な収益を高い精度で見積もるためには、それぞれの企業のビジネスモデル、競争環境などに対する多面的かつ詳細な調査と深い理解が必要であり、当ファンドでは、それぞれの地域で強みと実績を持つ投資先のファンドが、その役割を担っています。

当ファンドでは引き続き、地域的な分散を意識して資産配分を行うと共に、投資先ファンドを通じて、安全性や長期的な収益力を基準に銘柄の選別を行い、短期的な市場の動向ではなく投資対象の価値を重視して株式投資を継続することで、リスクを抑えながら皆様の長期的な資産形成に資することが出来るよう努めて参ります。

運用部 瀬下 哲雄

## 基本的な投資スタンス

私共が投資対象としているファンドは、いずれも中長期的な視点で投資を行っておりますが、保有している株式が割高となった場合やより良い投資機会を発見した場合、投資先の状況に大きな変化があった場合等については銘柄の売却を行うことがあります。もちろん、どのファンドも長期投資の理念を共有しており、短期的な売買を繰り返すことはありません。

私共は各投資対象ファンドについて、各ファンドがカバーする銘柄選択の対象を幅広くすることを意識しながら目標とする地域及びファンド毎の配分比率を決定します。その上で、主にファンドの購入により配分比率の調整を行っております。もちろん、短期的な市場動向の予測に基づいて投資先ファンドの売買を行うことはございません。

当ファンドでは、各投資対象ファンドがファンダメンタル分析に基づく中長期的な視点から各銘柄への投資を行い、その上で私共が十分に国際分散を図ることができるように資産配分を行うことで、皆様の長期的な資産形成に資するよう運用を行っております。

## 当ファンドに係るリスクについて

当ファンドはファンド・オブ・ファンズであり、主として投資信託証券に投資を行います。当ファンドは、株式や公社債を実質的な主要投資対象としており、株式や公社債の投資に係る価格変動リスクを伴います。一般に、株式の価格は個々の企業の活動や業績、市場・経済の状況等を反映して変動し、また、公社債の価格は市場金利の変動等を受けて変動するため、当ファンドはその影響を受け、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また当ファンドは外貨建資産に投資し、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を受け、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。

したがって、ご投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金が割り込むことがあります。

当ファンドの基準価額の変動要因としては、主に「価格変動リスク」や「為替変動リスク」、「カントリーリスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」などがあります。

※詳しくはセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

## 当ファンドに係る手数料について

お客様には以下の費用をご負担いただきます。

◆申込時に係る費用

申込手数料はかかりません。

◆解約時に係る費用

解約手数料はかかりません。なお、解約受付日の翌々営業日の基準価額に対して0.1%の信託財産留保額が控除されます。

◆保管期間中に間接的にご負担いただく費用

信託報酬

ファンドの純資産総額に年0.5832%（税抜0.54%）の率を乗じて得た額とします。その他投資対象である投資信託証券において信託報酬がかかります。当該信託報酬も間接的に受益者の方にご負担いただく費用となりますので、実質的な信託報酬は、年1.35%±0.2%（概算）となります。

その他費用

信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用（有価証券の売買の際に発生する手数料や、有価証券の保管に要する費用等を含む）、監査報酬（消費税含む）および立替金の利息等が信託財産の中から差し引かれます。なお、当該その他費用については、運用状況により変動するものであり、事前に計算方法、上限額等を示すことが出来ません。

当該手数料の合計額については、ご投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくはセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮していません。

投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

### セゾン投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第349号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

<http://www.saison-am.co.jp/>

お客様窓口：03-3988-8668（受付時間9:00~17:00 土日祝日、年末年始除く）